

豊岡市障害者福祉計画（骨子案）

P15～P16

※赤字が修正部分です。

第6期障害福祉計画

4. 福祉施設から一般就労への移行等

（1）一般就労移行者数<継続>

2019 年度の一般就労移行者数は9人となっており、2023 年度末における一般就労移行者数は、14 人を目標とします。増加率は、1.55 倍となって、基本指針の増加率 1.27 倍以上を満たします。

項 目		数 値	考え方
一般就労移行者数（A） 【基準値】		9人	福祉施設を退所し、一般就労した者の数（2019年度実績）
第6期 目標値	2023年度末の 一般就労移行者数（B）	14人 (1.55倍)	<基本指針> 【基準値】の1.27倍以上 (B/A)

（2）就労移行支援事業からの移行者数<新規>

基本指針では、2023 年度末における就労移行支援事業移行者数は、2019 年度実績の 1.3 倍以上となっていますが、2019 年度実績が0人のため、2017～2019 年度の3年間の平均就労移行支援事業移行者数1人を目標とします。

項 目		数 値	考え方
就労移行支援事業移行者数（C） 【基準値】		0人	就労移行支援事業移行者数（2019年度実績）
第6期 目標値	2023年度末の就労移行 支援事業移行者数（D）	1人	<基本指針> 【基準値】の1.3倍以上 (D/C)

(3) 就労継続支援A型事業からの移行者数<新規>

2019年度の就労継続支援A型事業移行者数は4人となっており、2023年度末における就労継続支援A型事業移行者数は、6人を目標とします。増加率は、1.5倍となって、基本指針の増加率1.26倍以上を満たします。

項 目		数 値	考え方
就労継続支援A型事業移行者数 (E) 【基準値】		4人	就労継続支援A型事業移行者数 (2019年度実績)
第6期 目標値	2023年度末の就労継続支援 A型事業移行者数 (F)	6人 (1.5倍)	<基本指針> 【基準値】の1.26倍以上 (F/E)

(4) 就労継続支援B型事業からの移行者数<新規>

2019年度の就労継続支援B型事業移行者数は5人となっており、2023年度末における就労継続支援B型事業移行者数は、7人を目標とします。増加率は、1.4倍となって、基本指針の増加率1.23倍以上を満たします。

項 目		数 値	考え方
就労継続支援B型事業移行者数 (G) 【基準値】		5人	就労継続支援B型事業移行者数 (2019年度実績)
第6期 目標値	2023年度末の就労継続支援 B型事業移行者数 (H)	7人 (1.4倍)	<基本指針> 【基準値】の1.23倍以上 (H/G)

(5) 就労定着支援事業利用者数<新規>

2023年度末における就労移行支援事業等を通じて一般就労に移行する者(14人)のうち、10人が就労定着支援事業を利用することを目標とします。利用者数の比率は、基本指針の7割を満たします。

項 目		数 値	考え方
一般就労に移行する利用者数 (B) 【基準値】		14人	2023年度末の一般就労移行者数 (第6期目標値)
第6期 目標値	2023年度末の一般就労に 移行する者のうち就労定着 支援事業の利用者数 (I)	10人 (7.1割)	<基本指針> 【基準値】の7割 (I/B)